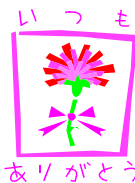


被災地と、みんなを結ぶ

2015 年 7 月 31 日 No.38

つながろう！絆・連合



発行：連合（総合組織局・連帯活動局）

電話 03-5295-0513 FAX 03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp

日本労働組合総連合会（連合）<http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

＜2015 第1弾＞
福島→東京へ

東北の子ども応援わんぱくプロジェクト

「東北の子ども応援わんぱくプロジェクト」が今年もスタートしました。本プロジェクトは、東北被災3県（岩手・宮城・福島）と全国の地方連合会の子どもたちの交流を通じて、絆を深めることを目的に昨年より実施しています。夏には全国の地方連合会で子どもたちを受け入れ、レクリエーションや名所・施設見学を通じて、働くことの意義や労働組合についても学習します。

そして、秋には受け入れ側の子どもたちが東北3県に行き、自然災害に対する防災の意義を学びます。

今回は、福島（いわき市）の小学5・6年生計17人が7月21～23日に東京を訪れ、東京の同じく小学5・6年生計11人と交流を深めました。

早朝にバスで福島を出発した17人は、昼ごろには東京・池袋に到着。造幣局東京支局でレクチャーを受けながら、コインや金属加工の記念品を見学しました。その後は、バスの車窓から都内の名所を楽しみ、宿泊先の「ホテル丸谷」へ向かいました。

二日目は、午前中に東京スカイツリーへ。展望台からはたくさん的高層ビルとともに、夏の時期には珍しく富士山もはっきり見えました。東京メトロの体育館に移動し、ここで東京の子どもたちと初対面、お互いに自己紹介を行いました。

続くキャッチボールクラシックでは、講師のプロ野球選手会の松沼雅之さん（元西武）と古木克明さん（元横浜、オリックス）から熱心な指導をいただき、トーナメントの決勝では、優勝チームが35回という記録を樹立しました。

また、「働く」ということを○×のクイズ形式で学んでいく「労働組合クイズ」では、



3日間の主なスケジュール

- 1日目：福島の子どもたちがバスで東京へ。造幣局東京支局を見学し、上野のホテル丸谷へ。
- 2日目：福島の子どもたちは東京スカイツリー見学、東京メトロ体育館で福島・東京の子どもたちが対面式、キャッチボールクラシックとクイズ後、千葉のホテル静養園へ。
- 3日目：ホテルでゲーム後、木更津市郷土博物館を見学、バーベキュー&解散式。

なんと6チーム中4チームが全問正解でした。

その後、バスで東京湾アクアラインを通り、パーキングエリアの海ほたるで休憩の後、二日目の宿泊地となる千葉県富津市の「ホテル静養園」に到着。

最終日は天候不良のため、残念ながら地引き網体験は中止となりましたが、屋内のレクリエーションで大盛り上がり。その後で木更津市郷土博物館も見学しました。

バーベキューでお腹いっぱい食べた後の解散式では、子どもたち全員で感想を言い合いました。最も多かったのは「最初は友だちができるか不安だったけど、いっぱいできて良かった」でした。今後も東北の子どもたちはたくましく成長していきます。

～子どもたちの3日間～



★キャッチボールクラシック★

元プロ野球選手から直々に指導を受けました。最初は緊張したけど、みんな上手くなりました

★ホテル内でゲーム大会★

地引き網体験は中止になりましたが、ハンカチ落としなどで盛り上がりました

★解散式★

ずいぶん仲良くなれたところで今回は残念ながらお別れです。楽しみは10月に



本ニュースは、全国の皆さんの声をベースに発行していきます。「こんな取り組みしているよ」「今、現地はこうなっている」などの声や写真をぜひお寄せください。お待ちしております！

●連合・連帯活動局

TEL : 03-5295-0513

FAX : 03-5295-0547

Eメール : rentai@sv.rengo-net.or.jp